

外へ飛びだそう!!



石川県総務部地方課

塚原 沙也加 Tsukahara Sayaka

平成22年 4月 総務省採用
自治体行政局行政課総務室
平成22年10月 自治体行政局選挙部管理課
平成24年 4月 現職

新米石川県人デビュー

総務省に採用されて3年目の春、北陸新幹線金沢開業へ向け盛り上がっている石川県へ出向となり、現在県内市町を元気にするお手伝いをしています。具体的には、自治体の財政状況の把握、地方債発行や特別交付税に関する業務等、市町の財政に関する仕事を担当しています。席に座ってパソコンとにらめっこをする日々ばかりではなく、県内市町への出張やヒアリング等で直接市町職員の方とお話しする機会もたくさんあります。石川県には19の市町しかありませんが、19市町すべてにカラーがあり、「県」の立場での業務と併せて「石川県」の勉強をさせてもらっています。

生粋の江戸っ子の私が総務省を志望したのは、今まで縁のなかった東京以外の地方自治体を知りたいという思いがきっかけでした。外へ飛びだしてみないと出会えない人、体験できない業務がここにはたくさんあります。「地方自治とは？」という根本的な問いを今まさに実体験しているところです。

暮らしの隣りに

石川県内をまわると、自分の仕事に関連した事業等に出会うことができます。出張で能登半島方面を訪れた際、担当している地方債を充てて整備する予定の、対向車がすれ違うことのできないくらい狭い道や整備が行き届いていない農道等を実際に目の当たりにし衝撃を受けたことがあります。現場を自分の目で確認することにより、事業の重要性や現場住民の思い、自分の仕事の意味を再確認することができました。

人とつながり土地とつながる

総務省の仕事は全国へ開かれており、自分を輝かせる舞台も全国に広がっています。地方で勤務していると、市町職員から各団体のもつ個性や魅力、懸念事項や今後の課題等多岐にわたる話を聞くことができ、自分では気づくことができない地方自治の実態に直に触れることができます。

霞が関にただいるだけでは知り合うことのなかった人々と一緒に仕事ができ、地方の視点を学ぶ機会に恵まれているのは、総務省ならではの魅力です。